

第386回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成20年4月25日(金) 10:00~11:25

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>西郷和彦 <副委員長>廣瀬久和 <委員>大江和彦、高田毅士、藤原克己、大越慎一、小幡道昭、鍛治哲郎、根本 彰、村田茂穂、時弘哲治、横山明彦、谷川智洋(代)、橋元良明(代)、三宅健介、岩崎貴哉、池本幸生、加瀬和俊、畑中研一、久留島典子、川崎雅裕、金道浩一、平松一彦(代)、藤井真理子(代)

(代)は代理出席者

<オブザーバ>石井洋二郎、三谷啓志

欠席者 長澤寛道、渡邊嘉典

列席者 星野雅英、栃谷泰文、木村 優、市村櫻子、中井雪子、森 啓介、山本和雄、合田美恵子、風巻利夫、高嶋秀介、吉田左貴子、高杉泰穂、前田哲男、石川一樹、本多 玄、飯塚亜子、藤田英子

配付資料

1. 第385回図書行政商議会議事要旨
2. 平成20年度図書行政商議会議委員名簿
3. 附属図書館運営委員会の構成員について
4. 附属図書館サービス特別委員会委員設置要項
5. 東京大学附属図書館研究開発室員名簿(案)
6. 総合図書館運営委員会委員の選出に関する申し合わせ
7. 駒場図書館運営委員会委員 指名候補者(案)
8. 平成19年度第2回柏図書館運営員会議事次第
9. 「平賀譲デジタルアーカイブ」公開
10. 「写真帖『東京帝国大学』」の公開について
11. シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる!?～」の開催について(ご案内)
12. 全学資料購入集中処理 第2ステージ
13. 学術機関リポジトリの現状について
14. 平成20年度図書行政商議会・附属図書館運営委員会開催日程

<開 会>

- ・西郷委員長の主宰のもとに開会した。
- ・西郷委員長挨拶の後、代理出席者の紹介があった。
- ・平成20年度最初の商議会に当たり、出席委員の自己紹介が行われた。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

西郷委員長から、第385回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 図書行政商議会副委員長の選出について

副委員長の選挙が行われ、法学政治学研究科 廣瀬久和教授が選出された。

西郷委員長から、副委員長任期の整合性を持たせるため、図書行政商議会規則第5条第1項「副委員長及び委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。」を「副委員長の任期は1年とし、委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。」と改正したい旨発言がありました承された。

(2) 附属図書館運営委員会委員の選出について

各キャンパス部会から以下の者が選出された。

本郷キャンパス部会	人文系研究科	根本 彰教授	(教育学研究科)
	自然系研究科	大越慎一教授	(理学系研究科)
	人文系研究所	久留島典子教授	(史料編纂所)
	自然系研究所	渡邊嘉典教授	(分子細胞生物学研究所)
駒場キャンパス部会		鍛冶哲郎教授	(総合文化研究科)
		玉井克哉教授	(先端科学技術研究センター)
柏キャンパス部会		金道浩一教授	(物性研究所)

(3) 附属図書館サービス特別委員会委員の選出について

西郷委員長から、委員案(資料4)が示され、案のとおり了承された。

(4) 附属図書館研究開発室員の委嘱について

西郷委員長から、室員案(資料5)が示され、案のとおり了承された。

(5) 総合図書館運営委員会委員の選出について

西郷委員長から、委員案(資料6)が示され、案のとおり了承された。

(6) 駒場図書館運営委員会委員の指名について

西郷委員長から、委員案(資料7)が示され、案のとおり了承された。

3. 報告事項

(1) 学術基盤整備のための全学学生用図書費の恒常化について

西郷委員長から、今年度以降全学学生用図書費として5千万円の要求に対して、満額の回答をいただいた旨報告があった。

(2) 柏図書館運営委員会(第2回)

三谷柏図書館長から、資料8にもとづき報告があった。

(3) 「平賀譲デジタルアーカイブ」「写真帖『東京帝国大学』」のデジタル化と公開

木村情報管理課長から、資料9, 10にもとづき報告があった。

(4) 電子ジャーナルシンポジウムの開催について

栃谷総務課長から、資料11にもとづき、電子ジャーナルシンポジウムを国立大学図書館協会の主催で、5月1日午後に理学部小柴ホールを会場にして行う。電子ジャーナルの継続的な確保は全国の国立大学の共通の課題でもあり、参加願いたい旨発言があった。

4. その他

(1) 図書集中購入の促進について

木村情報管理課長から、資料12にもとづき、今年度から全学購入集中処理の第二ステージとして、予算執行管理システムの運用開始により図書館システムを通る以外に、学部で消耗品として用度等で処理する図書資料も集中処理に含める。節約額については、運営費交付金は30%を部局に還元し70%を全学共通経費に当て、科研費は100%還元する。予算執行管理システム導入にあわせ5月から総合図書館と経済学部で試行を行い、秋頃には全学的に進めたい旨報告があった。

(2) 東京大学学術機関リポジトリの現状について

栃谷総務課長から、資料13にもとづき報告があった。

西郷委員長から、今後も本学のクオリティーの高いコンテンツを、各部局にご協力いただきリポジトリに載せていきたい。各委員に各部局で学位論文等の掲載について働きかけをお願いしたい旨発言があった。

(3) 平成20年度図書行政商議会・附属図書館運営委員会開催日程について

西郷委員長から、本年度の図書行政商議会・附属図書館運営委員会を資料14のとおり定例で開催したい旨発言があり了承された。

西郷委員長から、今年が総合図書館再建80周年に当たるので、記念行事を開催したい。関東大震災で全焼し貴重な書物もほとんど焼失してしまったが、建物はロックフェラー氏からの資金援助を得て昭和3年に再建され、同時に世界各国、日本各地から多大な書籍の寄付をいただいた。お祝事というより感謝を込めた行事をしたい。今年の秋くらいを考えているので、委員にもご協力をお願いしたい旨発言があった。

閉 会